

# High school students, be AMBITIOUS 高校生よ、大志を抱け



神奈川県会議員 山口ゆう子 県政報告100号

神奈川の高校生たちには、早い段階で大いに海外での留学経験を積んでもらいたいと『山口ゆう子』は、考えております。高校の段階で海外留学を経験することで、生徒が大きく成長することができるチャンスであると捉え、以前から、高校生の海外留学の支援策強化の必要性を唱えてまいりました。

## 1. 高校生国際交流促進費補助金(国庫)による神奈川県の高校生留学促進事業は進んでいるのか？

東京都の 交付決定者数		神奈川県の 交付決定者数	全国全体の 規模	神奈川県の 決定割合	高校生国際交流 促進費補助金 (国庫) (1人あたり)
33人 (内都立高校生1名)	H24年度	10人 (内県立高校生8名)	300人	3.3%	長期※：40万円
28人 (内都立高校生1名)	H25年度	10人 (内県立高校生7名)	300人	3.3%	長期※：40万円
31人 (内都立高校生1名)	H26年度	10人 (内県立高校生7名)	300人	3.3%	長期※：30万円
73人 (内都立高校生0名)		26人 (内県立高校生0名)	1300人	2.0%	短期※：10万円
31人 (内都立高校生1名)	H27年度	20人 (内県立高校生17名)	300人	6.7%	長期※：30万円
101人 (内都立高校生0名)		51人 (内県立高校生29名)	1300人	3.9%	短期※：10万円
153人 (内都立高校生20名)	H28年度	39人 (内県立高校生0名)	1300人	3.0%	短期※：10万円
176人(内定) (内都立高校生20名)	H29年度	30人(内定) (内県立高校生0名)	1500人	2.0%	短期※：6万円

※長期：概ね1年の留学、短期：2週間以上の海外訪問  
※H29年度は内定数

表1

何が見えてきますか...

- 神奈川県の決定割合が多いのか否か判断ができない。⇒国に聞いても教えてくれない。
- H26年度から国の補助金の一人あたりの単価は下がったが、全国全体の決定規模は大きくなった。  
⇒H28及び29年度は県立高校生は0名。県の教育委員会は、この事をどう捉えているのか！！  
そこで、聞いてみました。

《国等の制度を活用して、県立高校生の留学を促進していきたいと考えています。今後、県立高校のプログラムがより国に採択され、多くの高校生が留学できるよう、県教育委員会では、現地での学習・交流内容や、事前・事後研修などプログラムの内容を検討し、学校への支援を強化していきます。》との回答

### ⇒いつまでに検討するのか？

- 神奈川県留学促進事業は、国の補助金のみ。東京都教育委員会では、都立高校生対象に『次世代リーダー育成道場』という施策を打ち、表1で明らかのように都立高校生の決定者数が少ないので対策を打っています。では、神奈川教育委員会において、県費を投入しないのであれば、どう工夫しているのか？

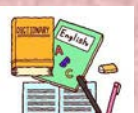
そこで、聞いてみました。

《県としては、留学への気運の醸成を図る機会を設けたり、毎年神奈川の高校生を教育特使として派遣しているアメリカ・メリーランド州や、今年度から新たに開始する台湾・新北市との国際交流事業を今後も実施することで、より多くの高校生の、海外への興味・関心を高めていきます。》との回答

⇒裏面を参照



次世代のリーダーを本気で育成しよう。  
山口ゆう子





## 2. 県費で行っている「高校生国際交流支援事業」とは・・・



国際理解教育の推進や教育文化交流活動の支援のため、平成17年度から県の友好交流地域へ県内高校生を派遣している。

### ◆派遣先実績

平成17年度	米国（メリーランド州8名）、 韓国（京畿道6名）
平成18年度	米国（メリーランド州7名）、 中国（遼寧省6名）
平成19年度	米国（メリーランド州8名）、 マレーシア（ペナン州6名）
平成20年度～ 23年度	米国（メリーランド州32名）
平成24年度～ 26年度	米国（メリーランド州18名）
平成27年度～ 28年度	米国（メリーランド州20名）
平成29年度 （予定）	・米国（メリーランド州）10名 平成30年3月16日～5泊7日 ・台湾（新北市）6名 平成30年3月13日～3泊4日



### ◆メリーランド州・派遣等に係る予算

年度	予算額 (円)	派遣者数	1人あたりの 予算額(円)
H20年度	3,168,000	8	396,000
H21年度	2,535,000	8	316,875
H22年度	2,270,000	8	283,750
H23年度	1,955,000	8	244,375
H24年度	1,621,000	6	270,167
H25年度	1,606,000	6	267,667
H26年度	1,320,000	6	220,000
H27年度	1,357,000	10	135,700
H28年度	2,008,000	10	200,800
H29年度	2,624,928	10	262,493

30年度の予算は、もっと期待してよいのか！

平成29年度からは、職業教育を主とする専門学科に在籍する 県立高校生 を派遣する。新たな試みを開始します。対象校21校(下記参照)。高校1・2年生が対象者です。

※1月中旬現在、平成29年度応募は締め切っています。ちなみに、水産と工業の分野の応募はありませんでした。

農業	平塚農業、相原、吉田島、中央農業
水産	海洋科学
工業	神奈川工業、商工、磯子工業、川崎工科、向の岡工業、 横須賀工業、平塚工科、藤沢工科、小田原城北工業
商業	商工、平塚商業、小田原東、厚木商業、相原
看護	二俣川看護福祉
福祉	二俣川看護福祉、横須賀明光、津久井
総合産業	神奈川総合産業

### 山口ゆう子のコメント

「グローバルビジネスへの関心を高め、神奈川と新北市の交流の架け橋となり、将来の神奈川の発展に寄与する人材を育成していく。」ことを目的にしているが、メリーランド州に比べ期間が短い。果たして目的は達成することができるのか？疑問が残る。1人あたりの予算と関連するのか!!。

### 神奈川県議員 都筑区選出

- 文教常任委員会
- 三期目
- 都筑区選出
- 岡山県生まれ



山口ゆう子

事務所

〒224-0041

横浜市都筑区仲町台1-23-13

TEL:045-948-3465

PCアドレス: change@yuko-yamaguchi.com

iPadアドレス: y-yuko@i.softbank.jp

山口ゆう子

都筑区

### 編集後記

東京都では、「次世代リーダー育成道場」と銘打ち、都立高校の生徒を対象に、英語の実践教育や日本の伝統文化の習得など、事前の準備を十分にしたうえで毎年200名もの生徒を海外に送り出しています。

渡航費や滞在費、学費などの経費も含め、予算額は約5億円となっており、単純に人数で割れば、一人あたり250万円の経費をかけている計算となります。

本人負担が80万円とのことであり、差し引き170万円程度を都で負担している計算となりますので、高校生が海外に出て行くことを強力に支援していると言えます。桁外れの予算です。この差をどう思われますか！